



mIRaI 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

伊里中絶賛授業中！！



18日、岡山県教育委員会より幹部訪問があり、神田先生が来校され、授業の様子を見て回られました。3校時に、校長先生と3人で全クラスを回っていきました。そして…



神田先生から、「生徒の表情がいいですね。」「先生と生徒の良い関係が伝わってきます。」「とても落ち着いていてすばらしい。」などと、絶賛の嵐、の感想をいただきました。

そして中でも、3年生の挙手の仕方を大絶賛されました。「これだけ手が挙がるだけでもすごいのに、その手の挙げ方が、ピシッと真っすぐに手が伸びていてすばらしい！！」との評でした。確かに3年生、手が伸びてます、気持ちも伸びてます、気持ち良いです。

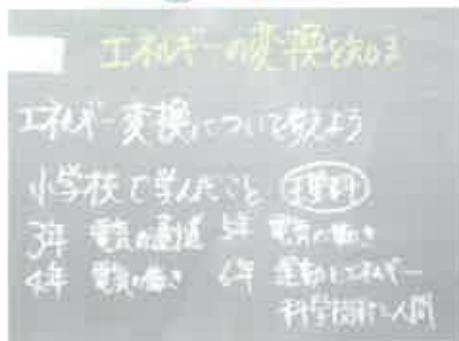
各クラス5分程度しかいられなかったので、挙手する授業展開でなかったクラスもあったので、ひょっとしたら全学年全クラスこのような手の挙げ方ができているのかもしれませんが、ここはこう書いておきます。

3年生のように、天まで届け！と手を挙げよう！！

1年生の数学では、「最初が肝心」と、2人の先生が補助に入り、3人で行っていました。神田先生も「手厚いですね。」と。しっかり先生に質問して、少しでも理解を深めていってください。



見回って見つけて板書公開



その時見つけた黒板から2つ紹介します。

1つは1年生の後の連絡黒板の書き方です。慣れてくるとどうしても「いつも」「いつもどおり」という表現ばかりになりがちです。もちろん、それでもいいので

すが、この黒板のように、内容を細かくていねいにピシリと書いてあるのを見つけると嬉しくなります。写真ではちょっと見にくいかな？「ちょっと一手間かけていねいに」、大切なことだと思います。もう1つは技術の授業から。「小学校で学んだこと」という記述があります。これぞ「小中一貫教育」ですね。小学校で学んだことを思い出し、その上に上書き…これこそ小学校からのつながりをもった教育と言えます。ますますこれは充実させていきます。



17日に研修で学んだこと



17日の研修で、「岡山シーガルズ」の河本監督の講演を聞いてきました。

ご存知の方も多いかもしれませんが、バレーボールのトップリーグで、企業チームだらけの中の唯一の市民クラブチームとして有名です。そして、そのハード面もソフト面も企業チームに劣る中、素晴らしい戦績をあげている事実も注目をされています。現在も女子日本代表に4人もの選手を送り込んでいます。

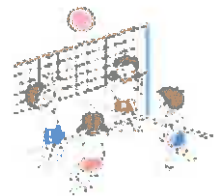
トップチームの中で、年間200回を超える地域や学校との交流の会を行っているチームはなく、その地域との一体感も評価されています。

河本監督から、選手育成の観点で、さまざまな参考となるお話を聞きましたが、その中で最も印象に残ったのが、

「利益は大事だが、利益を超えた何かがないと人の心には届かない。」という言葉でした。

その「何か」とは何か？その答えもまた人それぞれかもしれませんが、学校教育の中でも、その「何か」を考えていきたいものだと思います。

そして、先生が急にソワソワし始めたと思ったら、「申し訳ないですが、ここで講演を終わらせていただいて…」と言うではありませんか。



そうです、この日は東京で、オリンピック出場のかかった大一番の韓国戦があり、セッターの宮下選手らを送っているチームの監督として、「行かねばならない」事情がおありのようでした。

やはりバレーボールを始め、スポーツ全般に対する情熱には熱い熱いものがありました。残念ながらこの日の韓国戦は敗れてしまいましたが、オリンピックに出場できるよう、心から応援したいと思います。ガンバレ！ニッポン！！チャチャチャ！！



伊里小学校と合同研修会



表でも書きましたが、伊里小学校との小中一貫教育校開校に向けてひた走っている伊里学園です。18日の放課後は、緑陽会館で、今年度第1回めの合同研修を行い、全体会、4つの部会と熱心に話し合いを行いました。今年度から新設された、教育委員会の「小中一貫教育推進課」からも2名が来られました。「郷土を誇りに思い、確かな学力・豊かな心・健やかな体で、未来へ飛躍する伊里の子どもたち」を育てることを目標に、一致団結して頑張っていきます！

二十四節気 小 満 (しょうまん)

小満とは、命がしだいに満ち満ちていく頃のこと。草木も花々も、鳥も虫も獣も人も、日を浴びて輝く季節です。



初候「蚕起きて桑を食う (かいこおきてくわをくう)」5月21日～25日頃

蚕が、桑の葉をいっぱい食べて育つ頃。美しい絹糸となる繭 (まゆ) を、小さな体で紡ぎます。